

第1章 調査概要

(1) 調査目的

文京区では、平成23年度から32年度を計画期間とした「文京区一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、リサイクル清掃事業を実施している。計画期間の5年目にあたる平成27年度には計画の中間見直しを予定しており、計画後期の循環型社会の形成に向けたごみ減量施策について検討することとしている。

本調査は、中間見直しのための基礎データを得るため、区内のごみや資源の発生状況や処理・処分状況等、区民や事業者のごみ減量やリサイクルについての意識や取組状況、想定される施策に対する意見を把握することを目的とする。

(2) 各調査の概要

上記の目的を達成するため、以下の4つの調査を実施した。

① 区民アンケート調査

無作為に抽出した区民2,000名を対象に、郵送により調査を実施した。調査内容は、回答者の属性、ごみや資源の処理方法、ごみ減量やリサイクルに関する行動や意識である。

② 事業所アンケート調査

業種と規模を考慮して抽出した区内にある2,000社を対象に、郵送により調査を実施した。調査内容は、ごみや資源の量と処理方法、ごみ減量やリサイクルに関する行動や意識である。

③ 排出原単位調査

560世帯を対象に、ごみ集積所において排出するごみの量を計量し、区民1人1日あたりのごみ量を推計した。

④ 組成分析調査

ごみ集積所に排出された可燃ごみ1,065.46kg、不燃ごみ490.91kgを対象に、品目別の組成割合を調査し、ごみに含まれている資源物や分別が不適正なものの割合を調査した。